

千客万来 第28号

平成 21 年 7 月 27 日発行

花澤ぶどう研究所

<http://www.setogiants.com>

1 ごあいさつ

永遠に緑の地球・・・。おかしくなるほど暑い夏を迎える、皆様方には如何お過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。国内外ともに不安定な情勢がつるる中、空模様までも不安定です。どうぞ、ご健勝にご送日くださいますようお祈り申し上げます。

本年も遅ればせながら、皆様方のご愛顧のお陰で「千客万来」No.28号をお届けする事が出来ました。心より厚く感謝申し上げます。

今年のぶどうの生育は、極めて順調です。きっと皆様のご期待に沿い得るものと信じて管理しています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2 生育経過と管理

(1) 生育の経過・概要

7月15日現在、昨年より約5~6日生育が促進され、見学者が一様に驚かれる程の好調です。

その第一の理由は、積極的な栽培知識の習得と技術の向上をしたスタッフ。併せてそのチームワークの素晴らしいによるものです。お陰で緻密な管理ができました。

第二の理由は、生育期（春以降）の雨が昨年以上に少なく好天が続いたこと。健全な生育を促す土作り、とりわけ良質の完熟堆肥の使用による効果です。

第三の理由は、昨年までの教訓から農薬による病害虫駆除の徹底に努力していることなど、これらの総合的な効果と考えています。

15日の糖度調査で「瀬戸ジャイアンツ」は、糖度14~15ありました。今後、台風などの不慮の事故や災害がなければ、収穫期も昨年以上に早まり関西のお盆（8/13~16）頃には発送開始になるかと期待しています。

(2) 主な管理（詳しくは HP をどうぞ）

①発芽前後

2月中旬より、2・3号ハウスの、夜間の保温準備（二重張）。3月上旬より保温管理。ハウスの窓を全部閉めて夜温の低下を防ぎ発芽を促しました。

3月下旬頃より発芽開始。発芽状況により必要な芽・不要な芽を判定し、不要な芽を搔き取りました（芽かぎ）。

②開花期前後

4月には、芽かぎと併せて、新梢の生長にともない、育てる花穂を決め、穂数の調整（花穂落とし）、新梢の長さも決めて、枝の調整をしました（摘心）。摘心をすると花穂へ養分がよく行きわたり、花穂はどんどん育ちます。開花期が近づくと、花穂の大きさを整えるため、その一部を摘み取り（花穂整形）花蕾の発達を促しました。健康な花を咲かせるため、4月~5月初旬に害虫駆除は欠かせません。



5月になると開花が始まります。種なしぶどうを作るため、植物性ホルモン（ジベレリン）の溶液に、花穂を浸漬します。「瀬戸ジャイアンツ」は、開花直後第1回目の作業です。ジベレリン溶液の入ったカップに、整形した花穂を浸します。これで種がない実になります。全部の花穂が咲くまでには、4~5日かかります。

第2回目のジベレリン浸漬は、第1回目浸漬から10日~15日後に実施します。この頃には、1粒が大豆粒位に成長しており、房として扱えるようになります。摘心した枝の葉の付け根から脇芽（側芽）も沢山発生するので、枝に養分を奪

われないように、芽かぎ、摘心に努力しました。

③果実肥大期

ジベレリン処理後から果粒は日々急成長します。それを促進するための葉の光合成能力を高め、果実への養分蓄積を図るため枝葉を合理的に棚の上へ並べます(誘引)。勿論、摘心は休みなく続きます。

6月に入ると、果粒数を整え粒の肥大の支障のないように、粒間引きをします。併せて病害虫の発生を防ぐ作業もします。



7月になると、袋かけをして安全を確保し、房の生長を見守りながら、出荷の準備をします。



④これからの予定

梅雨明けの後の気象条件に注意し、管理ミスのないように、灌水・摘心をしながら樹の観察・診断を行い、慎重に収穫適期の判断をしなければなりません。

5月からの繁忙期を、何とかクリア一出来てここまで来ました。もう一頑張ります

⑤農薬の使用記録

下の表は、当研究所の本年度の記録です。参考のために、JAの典型例を併記しました。当研究所では、清掃の実施、CFWの散布、ハウスには防虫ネットを施し、農薬使用を極力低減し、安心して皮ごとお召し上がりいただけますように努力しています。

月	旬	生育過程	対象病害虫	JA		当研究所	
				殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	殺虫剤
3	上	芽膨らむ	ウドンコ病	①	①	①	
	中		ハダニ類、晚腐病	②			②
	下						
4	上	発芽期	カイガラ虫				清掃
	中		ハダニ類		③		
	下		ベト病、灰色カビ病	④	④		
			カイガラ虫、スリップス		⑤		
5	上	開花期	灰色カビ病、ウドンコ病	⑥		③	③
	中		スリップス	⑦	⑦	清掃	
	下		ハマキ虫				
6	上	前期肥大期	ウドンコ病	⑧	⑧	清掃	
	中		ハダニ類		⑨		④
	下		ケムシ類			CFW散布	
7	上	後期肥大期	晚腐病	⑩	⑩	⑤	⑤
	中		ウドンコ病			CFW散布	
	下		ハダニ類		⑪		
8	上	収穫期					
	中						
	下						
合計				11回程度		5回	

3 ぶどうの販売について

①商品の内容と価格

別紙をご参照ください。

注意

- 品番Eの場合、従来通り詰め合わせる品種の指定は受けできません。
- 房の大小で品種数(房数)が異なる場合があります。総重量には差はございません。
- 「あかいわブランド」指定の「ハイベリー」(品番C)「マスカット・デューク・アモーレ」(品番D)は市場には無く、皮ごと食べられるタネナシマスカットとして人気上昇中です。8月中旬より出荷予定です。ご期待ください。

☆販売価格据置についてのお願い

販売価格の動向については皆様の大きな関心事と理解しています。時代の流れを読み、少しでも安価に提供できないかと苦惱致しています。一昨年の春から今年の春にかけて諸資材が高騰し、そのつけを背負い込んでいます。

今日までに努力して作り上げてきた当研究所、独得の商品と品質維持向上、より自然に近い減農薬栽培

で安心安全なぶどう作りの経営がおびやかされています。かと言って手抜きは出来ません。

当研究所開設当時からずっとご支援を賜っている多くの方々のお陰で今日の在る私たちです。

そのため過去も時流に乗って価格を競うことなく一貫して私たちなりの納得価格で誠意を尽くして頑張ってきました。また、これからも末長くご支援ご愛顧頂きますよう願っています。

(どうぞ他園産のぶどうも賞味され、私共の努力を再評価して頂ければ幸いです)

わがままを申しますがどうかご了承いただきま
すように、よろしくお願ひ申し上げます。

◆特別割引

送料を除くお買い上げ価格に対して以下のサービスをさせていただきます。

商品お買い上げ金額	割引率
50,000円以上	5%
100,000円以上	10%

②ご注文受付期間と方法

平成21年8月1日～9月30日までにお申込み下さい。9/30以降はお問い合わせください。但し、収穫が終了した場合には、その時点で締め切らせていただきます。ご注文はFAXまたは郵送でお願いいたします。間違い易いお電話でのご注文はご遠慮ください。

〒709-0856
岡山市東区瀬戸町下 274-6
花澤ぶどう研究所
FAX. (086)952-1635

③収穫時期・発送方法

- ・収穫時期：食味調査で美味しくなって収穫します。今年は8月中旬頃を予定しています。
- ・発送方法：午前中に収穫で荷作り、午後発送します。最盛期は9月一杯です。

④荷姿

別紙写真の通りです。1Kg級の箱は更に外装し、安全を期しています。一括、重ね縛ることも可能ですが、不安定さを避けて口数が増加しても分割する場合があります。ご了承下さい。

⑤到着ぶどうの損傷等について

箱詰め、荷作りには細心の注意のもと、熟練者が担当しています。しかし、毎年2～3件の苦情があります。私たちも一層注意しますが、万一、一箱でも潰れた粒や落粒がまとまった部分にあった場合には運送上の問題があります。その場合には、ヤマト運輸の配達店へご相談ください。

⑥配達先不在について

受注順に発送しています。不在が前もって分かれば注文書にその旨をお書き下さい。お時間の指定等がございましたらご記入下さい。

⑦送料の目安

信頼のヤマト運輸宅配便でお届けします。送料の目安を示します。

	北海道	東北	関東 信越	北陸 中部	関西 中国	四国	九州	沖縄
2箱 くり迄	1,410	1,060	850	740	640	740	640	1,160

注)

- ・箱数・荷姿で送料が変わってきます。
- ・代金引換をご希望の方は、ご注文時にお書き添えください。但し、送料に加え、代引き手数料をご負担いただくことになります。手数料は、1万円未満315円、3万円未満420円となります。
- ・ご希望があればクール便でお届けしますが、出庫後急速に鮮度が下がります。常温での発送をお奨めします。なお、クール料金は1件につき210円が加算されます。

⑧代金請求について

原則として、ご注文分を発送いたしました後、先方が受け取られたことを確認後、商品代金と送料を合わせて請求書を郵便にて別送させていただきます。

請求書をご確認後、郵便局または銀行からお振込みをお願いいたします。間違いを生じやすいので、**箱の中には請求書は入れません**ので、ご了承ください。

場合によっては、前金をお願いすることがあります。



4 トッピクス

(1) 農商工連携活動

地場産業の振興を目指す活動は国を挙げて推進されています。3月14日当研究所を会場として、山田養蜂場顧問の織田先生と姫井参議院議員から、「山田養蜂場の発展の経緯」、「農商工の新しい活路の開拓の必要性」などを学び、大いに啓発されました。

当研究所も関係機関と相談指導を受けながら、時代の動向に沿ったぶどうのパッケージ（新商品）の開発を目指しています。完成次第、HPにてご紹介予定です。



(2) Oni ビジョン（ケーブルTV）の特集完成

1年間かけて当研究所のぶどうの品種改良活動をディレクターも共に実践しながら、その記録を視聴者におもしろく、理解しやすく特集していただきました。新しい一つの品種が生まれることは、サマージャンボで大台の当たりクジを当てるより難しく、流す汗と費やす時間や経費は何千倍か比較できません。経費、苦労、忍耐が必要なことが理解していただけたと思います。その中で、瀬戸南高校園芸科2年生の交配実験実習など、若い人の活動がうれしいです。目下、Oni ビジョンで放映されています。全12回の番組はHPからご覧いただけます。以下のURLにアクセスく



ださい。福島ディレクター、清水カメラマンに感謝です。

<http://www.setogiants.com/News/challenge.htm>

(3) 花澤系品種の苗木生産

今年は、若いスタッフが接木の特訓を受け、3月下旬より接木器を使って沢山接木をしました。ハウス内の特設コーナーで発根発芽させ、5月下旬より苗圃に移植し委託育苗しています。今月は緑接木法で全スタッフが育苗に挑戦しています。苗木ご注文はHPでご案内しています。早めのご注文をお願いいたします。



(4) 誕生会

今年もスタッフ一同の誕生日を祝って会食しました。寸刻ながら、ぶどうを忘れ、人生物語に花を咲かせ、更なる幸せを目指して楽しく生きようと話し合いました。所長もお蔭様で満77歳を迎え、皆さんで祝福すると共に、健康で汗を流せる日々を感謝されました。



◆編集後記◆

ご案内が大変遅くなりご心配をおかけしました。毎年、出来具合を正確に把握でき次第、ご案内を差し上げています。今年は、編集担当が目を痛め、白内障の手術の関係で急ぎながらも遅くなりました。お許しの程。幸い、回復は順調です。それにも増して一日も早い日本経済の回復が待たれます。（M）